

たかくまだより

R8.7.20 第25号 高塚熊野神社



公式
インスタ



公式
HP



公式
X



ヤタカラ君

高塚南北子ども会共催 神様散えて

Q お賽銭はどうして するの？



今回は、ながの
あいかさん(当時
小学4年生)から
の質問です。

お賽銭の「賽」の字には「お礼(報賽)」
という意味があります。つまりお賽銭を
納める主な理由は、日ごろのご守護やご利益(りやく)に対する神さまへの感謝の気持ちを表すためです。
古来、神さまには米や酒など「初穂(はつほ)(その年に最初に収穫されたもの)」をお供えしていまし
た。やがて貨幣が普及すると、貨幣で納めるようになりました。これがお賽銭の始まりです。
お賽銭には、「穢れを清める」という大事な役割があり
ます。昔から「お金には人々の厄(やく)やケガレがつきやす
い」と考えられてきました。厄がついたお金を手放し、
神社という清らかな場所に投げ入れることで、身を清め
る意味があると言われています。



ちなみに、お寺のお賽銭はもともと「お礼」では
なく「お布施」です。仏教では、欲や執着(ぼん'う)を捨てる修行が「お布施」でした。現在の
お寺の賽銭は、修行の意味は薄れたものの仏さまへの供物や寄付として行われています。

今月の ON AIR

FMHaro !
「たかくまだより」



第4 木曜 17:30~
第24 回放送

6月25日放送の FM Haro ! 「たかくま
だより」は2人の巫女、大城みなみさんと
4月入社の小畑うらゝさん
が出演。前号に特集し
た「お木曳行事」への参
加報告や「たかつか熊野
夏祭り」の夏越大祓、茅
の輪くぐり、神社の七夕
の紹介などの話題に花が咲きました。



谷本尚穂アナとのスリーショット

「たかつか熊野夏祭り」の様子は裏面ににて報告しています。

今月の魅力

ガマの穂、ご存じですか？



今年の「茅の輪」に「ガマ
の穂」を設えてみました。
ガマは水辺に自生する大き
な草で、ソーセージのような
穂をつける、夏の風物詩です。
日本神話「因幡の白ウサギ」
には、ウソをついて傷つけら

れたウサギが、ガマの穂で体を癒やした話が
あります。ガマの穂は医療による再生(よみがえ)の
象徴で、無病息災を祈る茅の輪にぴったり
です。またガマの神話には、ウソはいけな
い、思いやりが大切という教訓があります。



トピックス

神社で田植えしました



6月初旬、神社では五穀
豊穰を祈願して、戸塚昌
宏宮司らにより田植が行
われました。収穫される
稲は、11月の「秋季大祭
・新嘗祭」で祭壇に供え
られることになります。



来年咲くかな アジサイ植えました

これまで彩りがなか
った神社の東斜面に、
地域の方のご奉仕によ
りアジサイが植えられ
ました。来年の夏、花
をつけてほしいです。

お知らせ

四季の祓の会 第53回 夏の会

混迷した現代を生きるための知恵を、我が国古来の「神
道」を探究することで気づいてみませんか。



4月は仮殿にて開催されました

7月25日(土) 午後3時より。
会場 高塚熊野神社「仮殿」
内容「大祓詞」奉唱／神道講話
講師 宮司 戸塚昌宏
参加費無料、予約不要



舞姫さん 大募集

10月11日の例大祭に、
お神楽を奉納しませんか

1. 条件＝高塚町在住もしくは町内出身のお子様
(女の子)で、小中学生(高校生可)。
2. 定員＝6～8名
3. 練習＝9月から。回数未定。



社務所までお申し込みください。☎ 053-448-2288

「たかくまだより」のバックナンバーは、神社の公式ホームページや SNS
からお読みいただけます。

※裏面：特集記事「たかつか熊野夏祭り」メモリアル

たかつか熊野夏祭り スナップ写真

なごみのおおはらえ ち わ 夏越大祓・茅の輪くぐり



6月30日午後6時、総代や町民の方たちが参列するなか、禰宜の戸塚宗伯氏が「大祓詞」を奏上。夏越大祓の神事が執り行われました。



戸塚昌宏宮司による「八裂神事」。白い布を勢いよく裂くことで、参列者の罪や穢れ（けがれ）を払い清める儀式です。



まもなく夕暮れ時。神職を先頭に、茅の輪くぐりの神事が始まりました。



茅の輪くぐりの一行は、最後の神事に臨むため、七夕飾りの奥に調えられた神前に進みました。

たかくま市

7月4日、茅の輪会場にて、「たかくま市」が開催され、老若男女で賑わいました。



社殿が改修中のため、今年の茅の輪くぐりは西の鳥居前の駐車場で斎行されました。行列は坂の一番下にもで達し、参加者数はおそらく過去最高の人数に達したと思われます。



茅の輪とキッチンカーとのコラボ風景。

七夕



高塚熊野神社の名物。夜、美しく輝く竹灯りと笹飾り。



星に願いを。期間中、短冊は無料です。

七夕祈願祭



7月7日午後7時、戸塚昌宏宮司が祝詞を奏上、七夕祈願祭が始まりました。

たくさんの短冊を背景に、巫女が神楽舞を奉納。



参詣客が家内安全や祈願成就を願いました。



夏祭り期間中、笹に飾られた短冊は、534枚に上りました。534の願いごとが天に届いたことでしょう。